

令和5年 第6回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和5年6月6日(火) 午後2時00分

2 招集場所 大河原町役場 2階 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

櫻田尚 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、小野寺淳一 学校教育専門監
高橋玲央 学校教育係長

5 開 会 午後2時00分

6 令和5年第5回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。
舟山委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

- (1) 一般事務報告 なし
- (2) 専決事務報告 なし

8 議 事

議案第25号 令和6年度使用教科用図書採択基準について

教育総務課長より説明。

一盃森委員	教科書会社が少なくなっているのでは?検定が難しくなっているのかという感想を持った。あと、教科書展示会の日程を知らせてほしい。
高橋学校教育係長	6月14日から合同庁舎で開催される。後ほど、詳しい資料を配布します。
鈴木教育長	教科書展示会も2週間開かれるので、見ていただきたい。

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。
次回の臨時教育委員会で使用教科用図書について審議する。

議案第26号 大河原町学校給食運営審議会委員の任命について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告（校長会資料による報告）

1 「もぢぢり」

ネジバナの別名。古来からあるネジバナを楽しみたい。

2 『教育県岡山の復活に向けて』

岡山県では、学力向上と併せて非認知能力向上を目指す「夢育」を掲げている。宮城県でいう「志教育」にあたる。「志教育」はキャリア形成を目指すもので、非認知能力の育成である。文科省が言う「非認知能力を土台にして、主体的・対話的で深い学びを実現」を目指す。子供たちに意識させる取り組みが必要である。

3 キャリア教育

(1) 『小学校キャリア教育の手引き』

「主体的な学び」は、キャリア形成の方向性と関連付けながら、特別活動や教科指導の中で育てていくものである。「主体的な学び」は、「志教育」を実現するための重要な要素とも言える。

(2) 小学校に期待されるキャリア教育とは？（藤田晃之）

特別活動と教科を意識しなければならない。

(3) 国語とキャリア教育（水戸部修治）

「自分の選んだ作品のよさを多くの人に分かってもらいたいから、優れた叙述をとらえて読むといった主体的な意識を喚起する学習指導を進めていくこと」が大事である。

(4) 算数とキャリア教育（笠井健一）

「算数の学習は、キャリア教育の基礎的・凡例的能力の育成にも貢献している」

(5) 社会とキャリア教育（澤井陽介）

「社会科の学習は、勤労観・職業観の基礎を養う。」まさに、キャリア教育である。

(6) 理科とキャリア教育（清原洋一）

理科は問題解決学習。これからの課題を解決していく力を身につけていくことに繋がる。

(7) 日々の授業を子どもたちの未来に（藤田章之）

日々の授業が大切で、学ぶ意義を認識させることが大事。

4 「いのちを守る学校に」（NHK）

学校事故は「同じような事故を繰り返している」という。繰り返さないために、どう対応していくか。或いは、起きた時にどう対応するかが大事。白石市の事故もあったので、同じ事故を繰り返さないよう意識していただく。事故はいつ起こるか分からない。日頃から教職員で確認しておくことが大事。

5 英語教育実施状況調査（R4.12実施）

英検3級以上合格レベルの生徒と、英語教師が3級相当の力を有すると判断した生徒の割合である。国の到達目標は50%。大河原町は54.8%で昨年度同様、全国値を超えている。素晴らしい成績である。

6 タブレット端末の活用状況（R4全国学調）

中学校は、ほぼ毎日使用している。小学校は学校間格差がある。小学校でのタブレット活用を推進する必要がある。

7 その他

各校の運動会、中学校総合体育大会の様子について資料により説明。

舟山委員	教科におけるキャリア教育の話。私たちは、常にキャリア教育を意識して教科指導はしていなかった。先生方は意識して指導すれば、子どもたちも興味が出て納得する。このような考え方をぜひ先生方に資料提供してほしい。
	「いのちを守る学校に」の話。現場の先生も番組を見てほしいと思う。部活動で死亡が多いのは5月。定期テスト後の部活動での死亡が多いという。試験が終わっての部活動は開放的になり危険である。
	タブレットの話。南小での使い方が知りたい。使用率が多い。
鈴木教育長	タブレットの使用が多すぎても良くない。書く力が身に付かなくなり、学力が下がる。感想文が書けなかった例もある。デジタル教科書を使用した、紙と電子の使い方のバランスが大事。
一盃森委員	英語教育の実施状況。実際に英検を受ける数を増やして欲しい。検定料が掛かるので辞退する方がいるのであれば、町で補助など検討できれば良いと思う。これだけ力がある生徒がいる状況であれば、受験するサイクルを作ってあげられれば良い。
	今年、桜まつりの英語ガイド。これから、英語を使う場面が増えてくると思う。実際に英語を使える力。今後も大切に取り組んでいただきたい。

一 盃 森 委 員	<p>いのちを守る話。同じような事故が繰り返されるということを、学校の先生一人一人が認識し、子どもたちが安全に過ごせる環境が大事。特に、転落事故が心配。ベランダに物が置いていないか、不用意にベランダに出ていないかなど。</p> <p>キャリア教育の話。認知、非認知能力をバランス良く育てていくのが大事。知徳体。この世の中で、将来を担う子どもたちを育てなければならない。</p> <p>「主体的で対話的で深い学び」の主体的な学びが改めて分かった。</p> <p>小学校のキャリア教育。小学校低学年のうちから、自分で話し合っけて目標を決めてくのが大切。志教育。大河原が先陣をきって行っていく。</p>
小 山 委 員	<p>岡山の復活の話。志教育について、やはり認知・非認知能力をバランス良く育てていくのが大事。受動的ではなく、工夫して勉強をするためには、非認知能力を伸ばしていかなければならないと改めて思った。</p> <p>命を守る教育。学校は安全で安心な場所じゃないといけない。学校生活の中で気付く、ひやりとする危険箇所はあると思う。先生方や子どもたち同士で、危ない場所などを言い合える環境が大事。5月に体調を崩す話があったが、体調が悪い生徒が恥ずかしがって先生に伝えられない場合がある。恥ずかしがらずに伝えてほしい。</p> <p>英検の話。ぜひ、英検を受ける機会を増やしてほしい。きっかけがあると挑戦する子どもたちも増えてくる。</p> <p>タブレットの話。例えば、スマートフォンでは、英訳などすべて簡単に出来てしまう。自分で考えるのが面倒になる。しっかりと、危機感を持って使用してほしい。</p> <p>部活動の話。今年から部活動が強制ではないと聞いたが、部活動に所属していない生徒はどのくらいいるのか？</p>
鈴 木 教 育 長	<p>大中は昨年から任意加入。金中は今年から奨励加入。加入率は9割くらいである。</p>
舟 山 委 員	<p>部活に入らない子の理由は？</p>
小 野 寺 専 門 監	<p>学校以外のスポーツクラブへの加入などや、体を動かすのが苦手な子など。様々である。</p>
鈴 木 教 育 長	<p>昨年度、地域移行のアンケートの中には、勉強したいので入りたくないとの意見もあった。</p>
小 山 委 員	<p>部活動が自由になって、加入が減ってくると思うが、例えば、勉強したい子のための学習スペースがあれば良い。駅前図書館はどうか？</p>
木 村 生 涯 学 習 課 長	<p>町の図書館で、スペースは確保している。しかし、中学生の利用はあまりない状況である。高校生などが多い。</p>

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和5年度計画、行事予定について説明。

一 盃 森 委 員 | 総合型スポーツクラブの発足。土日の部活動地域移行の受け皿になっていくのか。

鈴 木 教 育 長 | 総合型スポーツクラブの中学生の受け入れについては、キャパシティ的に難しい状況。やはり、町直営での派遣型で実施していく方向である。指導者を確保して派遣する方式。

地元企業や仙台大学などと連携して、指導者を探す。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 臨時教育委員会は令和5年7月5日(水)午後2時30分から開催する。

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和5年7月21日(金)午後1時から開催する。

11 閉会宣言 午後3時40分

令和5年7月21日

署名委員

署名委員